

「芸術の秋」力作が勢揃い 笠松町美術展

町内外から多くのかたが参観



第三十二回笠松町美術展が十一月二日から四日まで中央公民館・町民体育館で開催されました。会場には、日本画・水墨画・洋画・彫塑工芸・書・写真・デザインなどの部門に三百七十一人からの作品五百十九点が展示され、町内外から訪れた千五百人ほどの参観者は力作に感心しながら見入っていました。また、企画運営委員の皆さんによるチャリティ小品展が同時に開催され、その収益金は町社会福祉協議会へ寄附されました。

百歳おめでどう

鬼束惇哉さんへ長寿者褒賞

十月二十三日に満百歳を迎えられた鬼束惇哉さん(田代)を広江町長が十月二十五日に訪ね、「おめでどうございます。いつまでもお元気で」との言葉とともに祝金百万円を贈りました。長寿をお祝いしました。鬼束さんは、現在は入院されていますが、祝状に目をとおされると丁寧な頭を下げ、笑顔を見せられました。

秋の味覚 「さつまいも掘体験」 町心身障害者小規模授産所



大切に育て豊作となった「さつまいも」

町心身障害者小規模授産所の所生の皆さんが十月二十九日、自分たちで育ててきたさつまいもの「いも掘体験」を行いました。今年は、例年に比べ雨が少なかったため、夏の間、毎日水をやり苦労して育てたさつまいもを掘り出して

は、所生たちは収穫を喜び合いました。また、十一月八日には、所生と親

がいつしよに収穫したさつまいもで、「さつまいもサラダ」や「大学いも」などを作り、秋の味覚を堪能しました。

ひとり暮らしのお年寄りを訪問

町赤十字奉仕団

町赤十字奉仕団が十一月五日、ひとり暮らしのお年寄り(七十歳以上)二百二十五人を訪ね、「いつまでも元気で頑張ってください」と励ましのことばをかけ、団員手作りのおはぎを贈りました。

お年寄りたちは、心のこもった訪問に感謝され、奉仕団員の皆さんとの会話に和やかな楽しいひとときを過ごされました。